

THE YMCA NEWS



北海道YMCA年間聖句 「だから、言うておく。祈り求めるものはすべて既に
得られたと信じなさい。そうすれば、そのとおりにな
る」(マタイによる福音書9章29節)

2018年7月20日発行
1947年10月27日第3種郵便認可
公益財団法人北海道YMCA
〒064-081
札幌市中央区南11条西11丁目
Tel 011-561-5217
Fax 011-563-0041
発行人/秋葉聡志
編集/佐藤雅一



蝦名 優希さん(写真下右から6番目)

第12回日本YMCA同盟協議会参加報告 日本YMCA同盟協議会 代議員 蝦名 優希さん

私は大学生の時に、北海道YMCAのボランティアリーダーとして、アウトドアクラブの活動やユースのキャンプ・スキー等の活動に参加していました。社会人になり、会員活動委員会の委員となる際に、同時に同盟協議会の代議員となり、この度同盟協議会に参加させていただくこととなりました。

今回の同盟協議会の大きなトピックとして、世界YMCAのVision2030があります。同盟協議会の中では、様々な参加者とコミュニケーションが取れるアクティビティを行いながら、身近なテーマから出発して、Vision2030の目標をどのように実現していくかを考えることができました。また、世界YMCA会長のソヘイラ・ハイエクさんも来日し、Vision2030への思いや、日本のユースへの期待をお話していただきました。今後リーダーレスになっていく社会の中で、まずは一歩踏み出しチャレンジしてみることが大切である、というお話が印象的でした。

また同盟協議会の中では、沢山のユースと交流することができました。スタッフとして働いている人、ボランティアリーダーとして活動している人、学生YMCAを運営している人など、全国から合計20名近くのユースが集まりました。今回、同盟協議会に参加した理由は参加者によって様々でしたが、協議会

の中で感じたことや、自身のYMCAでの経験などを話し合うことができました。スタッフとして働いているユースの中では、YMCA Change Agentとして活動している人もいました。同じ年代でグローバルに活動している人がいるということは自分にとっても刺激になりましたし、改めてYMCAの活動が世界に根ざしているということを実感しました。

現在、私は会社員として働いており、ITシステムの提案や構築に関わっています。システムの構想にあたり、社会課題について考えることも多いですが、今回の同盟協議会の中で、YMCAが向き合っている世界規模の課題について知ることができ、自身の今後の仕事にも活かせると感じました。また今回の同盟協議会や、これまでの活動の中でYMCAを通してできた繋がりを途切れさせることのないよう、活動への参加やコミュニケーションの機会を大切にしていきたいと思えます。

この度は、このような機会をいただき誠にありがとうございました。



6月21日・22日、専門学校の English Session (英語特別授業) が行われました。その中でのワークショップでは、SDGs “飢餓をゼロに” をテーマに、カナダ・ロシア・インド・アメリカ・オーストラリア・イギリス・ニカラグア・バングラディッシュ出身の留学生や外国人講師とともに、食糧問題についてディスカッションを行いました。そのほか、英語でのゲームやアクティビティ、世界の料理作りに挑戦するなど English Session を楽しみました。



これまで人を引っ張ったり、まとめたりする経験がなかったので、今回 English session の司会に立候補しました。日本人と海外の方とリアクションが違うため、英語でどのように話したら盛り上がるかなと考え工夫しながらやってみました。皆さんが笑顔で反応してくれて良かったです。

札幌 YMCA
英語・コミュニケーション
専門学校 2年
尾形 彩夢さん



英語のディスカッションは大変でした。知らないワードが次々と出てくるため、とても苦労しました。一番驚いたのは、ロシアからの留学生が日本のことをよく知っていたことです。私は自国のことなのに全然知らず悔しい思いをしました。今後は世界や日本の社会問題にもっと目を向けていきたいです。

札幌 YMCA
英語・コミュニケーション
専門学校 2年
齋藤 千海さん

コラム

若者の社会参加と選挙投票率



日本キリスト教団牧師
高橋 一さん

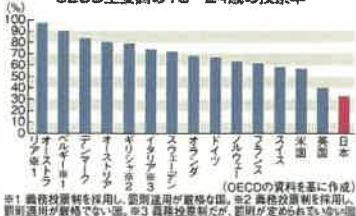
いつの時代であっても、若者はそれぞれの流儀で何らかの「社会参加」を志してきた(と聞いた)。一口に社会参加と言っても時代によって違いがある。1960年代は街頭での過激な政治活動が社会参加であった。70年代以降は「しらけ世代」だが、彼らも表面的な社会参加に背を向ける形で自分なりの意思表示を試みていた。阪神淡路大震災や東日本大震災の際のボランティア活動も社会参加の発露であった。近年の SEALDs の国会前活動はどうだろう。

ところで、法的に保証されている社会参加に選挙権の行使がある。今は18歳以上の選挙権が認められている。しかしこの点で日本の若者にはある傾向がある。OECD(経済協力開発機構)によると、日本の若者の国政選挙での投票率は調査国中で常に最低だからだ(イラスト参照)。この事実は総務省も認めている。調査国には義務投票制の国もあるが、それにしても日本の若者の低投票率は特異だ。少なくとも選挙権の行使という点で、日本の若者は社会参加を実行し得ていない。それはなぜなのか。

近年日本の投票率は低迷している。政治に関与する投票権は、日本全体でも半数以上は棄権が選択される。その結果、政治体制の正統性は脆弱になり、その正統性の欠如がさらに政治への不信感を増幅させる。この悪循環から日本の政治は脱却していない。若者がそのような「虚構の政治」に積極的に関与しないのは当然であろう。

「若者」の社会参加は、「大人」を含む低投票率問題を抜きにしては正しくは論じられない。なぜなら大人自身が家庭でも学校でも職場でも社会参加を軽視し、結果的にその機会を子どもや若者から遠ざけてきたからである。

OECD主要国の18~24歳の投票率



札幌 2023 年度創立記念日集会

4月2日(日) 北海道 YMCA 創立記念日集会在札幌 YMCA を会場に行なわれ、zoom での配信と合わせて 57 名が参加しました。

記念礼拝では、北海道 YMCA 理事・新札幌聖書教会牧師の朴永基さんより「主の御腕（神の見えない力）」と題する奨励が行なわれました。

記念講演では、北海道大学大学院文学研究院社会学研究室教授の櫻井義秀さんより「宗教とウェルビーイング」をテーマに講演をしていただきました。講演では、最初に多くの問題を指摘されている宗教団体の実態についてお話しがあり、特に日本での活動、日本人信者が教義によって過酷な状況を強いられていること、それでも信者の方にとっては正しいことであり、自分が幸せになっていくには不可欠な事柄として受け止め、抜け出せない状況になっている事についてお話しがありました。

そのうえで、宗教が人を幸せに出来るかどうかという問いについては、幸せに出来る宗教とそうではない宗教がある。幸せ自体は個人的な感覚によるところが大きいですが、幸せを限定した価値観や、短期的に結果が得られる事に答えを求める姿勢が上記の宗教団体を生み出している。幸せは長い時間軸と広い空間の中で考える必要があり、自分だけではなく、他者や社会との共生の中で考える必要があるとお話しされました。



北見 避難訓練を実施しました！

6月21日(火)に防災訓練を実施しました。

消防署の消防士・救急救命士に来てもらい、避難している様子を見てもらいました。実際に消防車を見た際に、積んである消防士の服を見て「大きくなったら着て火を消しに行くんだ！」と言っている子どもを応援してくれました。ホースやロープの長さを教えてもらい驚いた様子でした。また、救急車に乗せてもらい車内を実際に見て大興奮していました。その後、火災についてのDVDを2本鑑賞しました。山火事はたくさん動物が亡くなってしまっても怖いもので、子どもだけで火を使っちゃいけないこと、キャンプなどで火の始末をしっかりすることが大切なんだと学ぶことができました。火がこわいと泣いてしまう子どもたちもいましたが、とてもいい学びの機会になりました！



帯広 チャリティーラン特別イベント「ラン&ファミリーデイキャンプ in 恵みの里」開催！

5月30日(火)から6月30日(金)にかけて行われた北海道 YMCA チャリティーラン。とかち帯広では、「恵みの里キャンプ場で走りたい！」という小学生有志の声に答えて、6月18日(日)に「ラン&ファミリーデイキャンプ in 恵みの里」を開催し、ファミリーや幼保園卒園児のグループなど総勢 14 名の参加者とともに初夏のランニングを楽しみました。

会場となった「恵みの里キャンプ場」は、十勝ワイズメンズクラブメンバーの池田正勝・明美ご夫妻が 40 年以上に渡って管理されている私設のキャンプ場で、YMCA プログラムや地域の方々の交流の場として活用されています。

子どもたちの声から企画された今回のプログラム。みなさんも「やってみたい！」「行ってみたい！」というリクエストがありましたらぜひお寄せください。



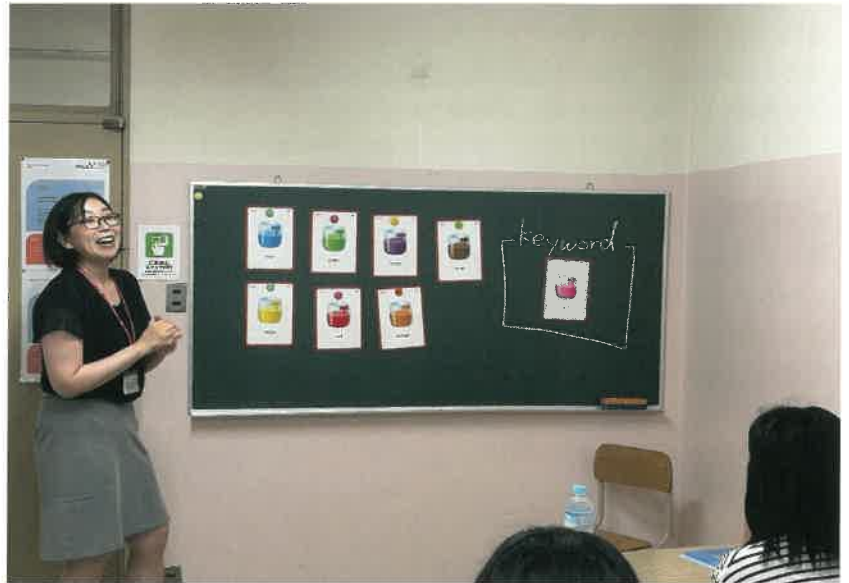
札幌 進路探求オリエンテーリング

7月26日(水)、8月1日(火)に専門学校で、札幌市内の中学生を対象とした進路探求オリエンテーリングを実施しました。このプログラムは、子どもたちが体験を通じて自分の将来や働くことについて学ぶことを目的にしています。

今回は2講座の実施で、「英語を教える仕事について知ろう!」では、英語を教える職業についての紹介や小学生に英語を指導するシミュレーションを行いました。英語を教える仕事と言っても、働く形態、必要な資格、指導対象、指導方法など様々であることに生徒たちは驚いていました。また、英語指導のシミュレーション(体験)では、指導することの楽しさと難しさや、授業を実施する前の授業計画の立案から教材の準備など、普段見えない業務についても知る機会となりました。

また「英語を生かして働く」の講座では、どのような職業があるのか、その仕事に就くには英語のレベルはどの位必要なのか、どのような経験を求められるのかなどを学びました。仕事の体験では、通訳に挑戦しました。短い時間で聞き取り、訳することの大変さや物事の背景や歴史についてなど、英語以外にも幅広い知識が必要なることを知りました。参加者の中には「もっと英語を勉強したくなりました。」という声もありました。短い時間でしたが、子どもたちが体験を通して感じとってもらえたらと思います。

また、このプログラムは、2024年1月にも実施を予定しています!



北見 ハロウィンかぼちゃ

毎年、ハロウィンかぼちゃの苗を20年前の卒園生のお父さん新谷さんのご厚意で育ててもらっていました。

今年は、YMCA農園を広く使えることにより、ハロウィンかぼちゃを苗から植え育てることになり、年長児が中心となって種を発芽させ、ポットに種をみんなで植えました。数日で芽が出て双葉になったのですが、いっこうに育たず枯れてしまうことを2度経験したのち思考錯誤の末、3度目の正直でやっと大きく育ちました。育つ経過の中で、子どもたちは、毎日大きくなっていくのを楽しみ観察したり、絵を描いたり「大きくなあれ」と応援したり、かわいい光景を見ることができました。そして、先日YMCA農園「はたけのはたこ」に又「大きくなあれ」と応援しながら植えてきました。収穫は10月!自分たちで育てたカボチャでハロウィンを飾ることを楽しみに草取りをみんなでしていきたいと思っています。



Topics

札幌 2023 年度北海道 YMCA サマーキャンプ

2023 年度の YMCA サマーキャンプには述べ 186 名のメンバーが参加してくれました！登別ではタイダイ染めと川遊び、黒松内では化石探しや海遊び、日高では火起こし体験を行いました。ユースのボランティアリーダーが、子どもたちが楽しく活動できるよう雰囲気づくりや子どもたちの関係作りなど、とても頑張ってくれました！

各キャンプでは野外体験活動を通して子どもたちの自立心や協調性を育てています。また、子どもたちそれぞれの個性を大切に、キャンプの中で恥ずかしがらずに個性を発揮できるよう、スタッフやユースボランティアリーダーが積極的にサポートしています！

出発時と解散時では明らかに顔つきが変わり、成長が一目で分かるようなメンバーも多く、今後もさらに楽しく成長できるサマーキャンプを実施していきたいと思えます！



北見 海を守る植樹会

6月4日（日）に3年ぶりに『海を守る植樹祭』が開催されました。この植樹祭は常呂漁業協同組合、サロマ湖鶴雅リゾート、北見 YMCA が協力して 2005 年から開催されている社会貢献活動で、YMCA・JOY を始めとする会員にとっては豊かな海を守るには豊かな森を育てる事が必要という生態系の大原則を体験、実感できる素晴らしい機会です。当日は、北見市端野豊実の植樹会場に 121 名の YMCA 会員及び保護者、常呂漁業協同組合からは高桑組合長をはじめ多くの組合員、サロマ湖鶴雅リゾートからは大西副社長、北見市からは辻北見市長も参加し、250 本の苗木をみんなで植えました。

植樹の前には、以前に植樹した場所をみんなで見学し少し大きく成長した木を眺め、開会式では常呂漁業協同組合から子供たちに記念品が贈られ、それに応えるように JOY の園児たちも元気いっぱい、立派に挨拶ができました。その後会場をワッカ原生花園に移し、常呂漁業協同組合のご厚意でアサリの潮干狩りを親子で楽しみました。

この活動が今後も子どもたちが自然を守るということ、自然の中から食べものを得るということを体感できる機会として継続していけるように北見 YMCA も地域社会と協働していきたいと思えます。



帯広 村田光希伝導師が来園されました！

5月30日、幼保園で毎週行われている園礼拝に帯広栄光教会の伝道師、村田光希先生をお招きし、子どもたちにメッセージをいただきました。普段とは少し違う礼拝の雰囲気に初めは緊張していた子どもたちでしたが、光希先生のおもしろエピソードや、やさしい話し方のおかげですぐに打ち解け、和やかな雰囲気の中でイエス様の愛に触れるひと時を過ごすことができました。

実は音楽が大好きでピアノも上手な光希先生。礼拝の後には、年長たいよう組と年中そら組のお友だちと一緒にリズム遊びやゲームを楽しみ、子どもたちも「今度はいつ来てくれるのかなあ」と次回の来園を心待ちにしている様子でした。光希先生、またの来園をお待ちしています。



ワイズ便り

「ウクライナの今」 小野 健

7月18日(火)に、札幌在住のベロニカ・クラコワさんを北海道YMCAにお迎えして、「ウクライナの今」というタイトルで卓話をいただく機会を設けることができました。当日はメンバーに加えて、YMCA関係者、クラコワさんのお友達など約25名に参加いただき札幌YMCAとの共同開催で実施しました。

クラコワさんは、楽しい思い出の写真や戦争によって変わってしまった様子と共に体験談をお話し下さり、6月に起きた南部のカホクカダムの破壊や戦争のもたらす負の影響をまざまざと実感しました。特にお正月の花火なのか、攻撃による爆発なのか良く分からない、というお友達からの言葉が非常にショックで印象的でした。

このような状況に対して、クラコワさんはウクライナを支援する方法として、①ウクライナの軍隊をサポートする(憲法で他国の軍への支援は出来ないが、個人なら可能では)、②ウクライナの戦争

についての事実を正しく知ってその情報を広めること、③ロシアをボイコットすること(ロシア製品を買わない、プロパガンダを信じないこと)、④ボランティアや寄付などでウクライナをサポートする(在日ウクライナ大使館や支援団体)などを話されました。

当事者の声を聴き、質疑応答をすることで、ニュースを正しく読み取り、情報や現状を正しく理解し、他人事にせず我々として何が出来るのかを考える一夜になりました。



INFORMATION

2023 札幌 YMCA

チャリティーイベント

日時：10月1日 10:00 ~ 14:00

会場：札幌 YMCA

(札幌市中央区南11条西11丁目2-5)

スイミングのプライベートレッスンや e-sports 大会など様々なプログラムを用意しております!

チャリティーパークゴルフ大会

日時：10月15日 10:00 ~ 12:30

会場：エルクの森パークゴルフクラブ

(札幌市南区藤野663)

参加費：大人 3,500円 (プレー・チャリティー・ランチ代含む)

小人 2,500円 (プレー・ランチ代含む)

※チャリティーは大人 500円となります。

紅葉を見ながらプレーします!チャリティーはYMCAの障がい児プログラム支援のために使わせていただきます。

寄付及び会費の納入・募金へのご協力に感謝申し上げます。(2023年4月~入金者・敬称略)

○寄付： 水の安全キャンペーン支援 札幌ワイズメンズクラブ
チャリティーラン支援 札幌ワイズメンズクラブ
YMCA活動支援 札幌北ワイズメンズクラブ
会館建設支援 石丸修太郎
トルコ・シリア地震被災者支援 新札幌聖書教会
ウクライナ支援募金 札幌バプテスト教会

○維持会費：秋葉聡志 東みちよ 石澤伸弘 石橋恭 石丸修太郎 板倉健一郎 大崎学 大崎和美 大澤偉和夫 大友正幸 岡山克美 小谷和雄 越智秀彦 小原厚子 小山憲彦 片桐三晴 合佐毘綾子 加藤麗子 鹿中由美 神山尚輝 粥川道子 川口豊 木田貴浩 北川佳治 木村里美 工藤啓司 熊谷康宏 熊敏彦 黒鳥偉作 黒田孝之 高後裕匡 河野直子 古賀清敬 後藤道 齋藤志栄子 齋藤隆広 齋藤義信 佐藤雅一 浜田恵子 下村尚子 宿田成宏 高杉純二 高橋孝子 高橋史英 竹口祐司 田村卓哉 千葉瑞恵 寺岡宏 内藤仁 中田靖泰 中村吉孝 中村扶実子 西千津 二宮信一 朴永基 橋本育子 濱崎裕 林文昭 坂東久美子 伏木淳 伏木忠了 藤川幾久子 藤田寛 藤原和久 宮崎善昭 武藏学 八鍬真弓 山川康 山下伊作 山中恵理子 義村小夜子

○賛助後援会費

個人：秋山孝二 石丸修太郎 榎戸克美 中村興治 伏木忠了 本間フミ
法人：(株)アイチフーズホールディングス (株)アクアシステム (株)一久 伊藤組土建(株) (株)エネルギーメンテ北海道 (株)エンパイアー 北電力設備工業(株) (有)ケイ・ティ・エス コニカミノルタジャパン(株) 酒井司法書士合同事務所 (有)三本木薬局 自由が丘山田内科クリニック (株)社社孔版社 鶴雅ホールディングス(株) (株)デジック (株)トヨタレンタリース帯広 (株)トヨタレンタリース北見 日北自動車工業(株) 税理士法人春野会計事務所 (株)北洋銀行石山通支店 北海道放送(株) (株)マサール

○チミケップキャンプ場整備募金：(株)山本工務店 ワイズメンズクラブ北海道部

石澤伸弘 石丸修太郎 加藤麗子 竹口祐司 林文昭 伏木淳 伏木忠了 武藏学 八鍬真弓 義村小夜子

○ベトナム教室建設支援募金：安孫子ゆかり 有田禄 石澤伸弘 石丸修太郎 板野心南 小野ひとみ 加藤麗子 鎌田美香 川口豊 古賀清敬 後藤道 齋藤清 作田一歩樹 白木佳世 杉崎珠美 高橋一 竹口祐司 内藤仁 中島涼子 中村郁仁 西村悠 八柳愛 林文昭 宮本陽斗 宮本朝陽 武藏学 山下真 山田りよ子 義村小夜子